

# 登録有形文化財 「デフォレスト館」の魅力

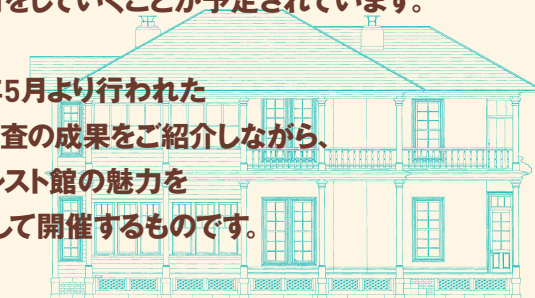
平成25年度文化遺産を活かした地域活性化事業  
— デフォレスト館を通して「仙台の英学史を知る」 —

シンポジウム  
Symposium

東北学院大学土樋キャンパスの西端にある西洋館は、シップル教授一家がその家に住んでいた最後の宣教師であったことから、長い間「シップル館」と呼ばれてきましたが、文化財としての価値を見直すにあたり、最初の住人であったデフォレスト宣教師にちなんで「デフォレスト館」と呼ぶことになりました。

平成25年3月に国の登録有形文化財に登録され、今後も保存・活用に向けた検討をしていくことが予定されています。

このシンポジウムは、平成24年5月より行われたデフォレスト館の建築史的調査の成果を紹介しながら、貴重な歴史が刻まれたデフォレスト館の魅力を多くの方に伝えることを目的として開催するものです。



## 【タイムスケジュール】

14:00 **開会宣言** 司会：櫻井一弥（東北学院大学工学部准教授）  
14:00-14:05 **挨拶** 東北学院理事長 平河内健治  
14:05-14:15 **主旨説明** 司会：櫻井一弥（再掲）

## 14:15-15:45 【第1部】デフォレスト館 その魅力

### 14:15-14:45 1 | デフォレストの人物像とデフォレスト館の概略

志子田光雄 東北学院大学名誉教授

### 14:45-15:15 2 | デフォレスト館の建築史的調査の概要と成果

野村俊一 東北学院大学院工学研究科助教（建築史学）

### 15:15-15:45 3 | 他事例との比較によるデフォレスト館の特徴

足立裕司 神戸大学大学院工学研究科教授（建築史学・建築論）

15:45-16:00 **休憩**

## 16:00-16:55 【第2部】ディスカッション

パネリスト：第一部の講師3名/モデレータ：櫻井一弥（再掲）

- デフォレスト館の歴史的意義について
- 今後のデフォレスト館活用のアイデア
- デフォレスト館保存活用の方向性についての希望・意見
- 質疑応答

16:55-17:00 **まとめと閉会の挨拶** 司会：櫻井一弥（再掲）

### 東北学院大学 住所

〒980-8511 仙台市青葉区土樋一丁目3-1

### アクセス

JR＝「仙台駅」から徒歩20分

地下鉄＝仙台駅より富沢駅行乗車、

「五橋駅」または「愛宕橋駅」下車徒歩5分

バス＝仙台駅前より長町方面バスにて

「仙台市立病院」前で下車徒歩5分

